

## 目標達成計画

作成日：平成 22 年 4 月 26 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	開設1年未満の事業所である為、地域とのつながりが、まだまだ不足している。	地域の行事・催しものに積極的に参加していく。また地域の方が気軽に立ち寄れるホーム作りを目指す。	当グループホームは何をしている所？認知症とはどうゆうものなのか？地域の方に理解してもらえるように関係資料を回覧、配布する。また、ホームでの行事等の情報発信・参加の促しを積極的に行う。	12ヶ月
2	13	新人職員研修を実施しているが、研修後の振り返りが出来ていない為、不安なまま業務に入っている。	研修後も不安や疑問に思うことなく、業務に入れるようになる。	研修期間中は毎日、担当職員、新職員の話し合いの場を設け、不安な事や疑問に思う事を話して貰う。また、その都度担当職員からの助言・アドバイスを行う。	6ヶ月
3	13	定期的な内外研修が行える環境が整備されていない為、個々のケアの質の向上が計画的に行えていない。	計画的にケアの質の向上を行う。	年間内外研修内容を決めて月1回以上勉強会を行う。又、職員に希望の外部研修に参加してもい、勉強会等でホーム内へ浸透させる。	6ヶ月
4	38	利用者個々の入居前の生活ペース過ごし方をしっかり把握できていない。	家族様、本老から、入居前の生活、ペース過ごし方の情報収集を行い日々の暮らし活用できるように取り組む。	センター方式を家族様に配布し記入出来る範囲で情報を提供して貰う。又、本老からも普段の会話から情報を引き出し記入し職員間で情報の共有認識を図る。	12ヶ月
5	39	おしゃれを楽しめる機会があまりない。	イベントや外出時にもおしゃれをして貰いたい。	家族様にイベントや外出時に合わせた衣類を持ってきてもらう。その際に、持ってきた衣類をきてもらう。又、女性利用者様化粧等をして頂く。	5ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
6	48	イベントや行事等の企画意識が低く定着、浸透していない。	各職員の行事計画意識の定着により充実した行事の計画、実施が行える。	年間行事計画、月間行事計画を作成し個々のが行事計画を提案しやすい環境にする。	6ヶ月
7	49	家族様と一緒に外出する機会がない。	家族様と一緒に外出して貰えるように外出の企画を作成し参加を集う。	敬老の日前後に、外出の企画を行い、参加しやすい企画内容を作成し、2～3ヶ月前から参加集うよう。	5ヶ月
8	52	空間を上手く使えていない。	目的に合った空間づくりを行う。	ピープを活用して現在の問題点を上げ今後利用者様が、利用しやすい、落ち着ける環境へ設営を行う。	12ヶ月
9					
10					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。